

学校名	学年	教科
川越中学校	1 年	音楽

1. 学習のねらい等

学習のねらい	○表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 ○音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 ○多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 ○多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。
使用教材	教科書：中学生の音楽1（教育芸術社） 中学生の器楽（教育芸術社） 補助教材：合唱曲集「翼をください」（教育芸術社）

2. 評価の観点および方法

評価の観点		評価の方法
① 音楽への関心・意欲・態度	・忘れ物をせず、積極的に授業に参加している。 ・演奏、歌唱の際、集中して練習に取り組んでいる。 ・教師の指示やアドバイスを聞き、上達しようと努力している。	・準備物の状況 ・毎回の授業の態度、姿勢 ・授業中の発言内容 ・実技テスト（歌、リコーダー） ・定期テスト及び小テスト ・レポート
② 音楽表現の創意工夫	・アルトリコーダーを美しい音色で演奏することができる。 ・歌唱の声の質（響き）、発音、発声に工夫して取り組んでいる。 ・歌唱では歌詞の内容を表現することができる。 ・ブレス（息継ぎ）の仕方（場所、量）が音楽的である。 ・他の声部を意識しながら歌唱や演奏することができる。	・アルトリコーダーの音色、タンギングの様子 ・歌唱の際の、声の質（響き）、発声の様子、発音の工夫 ・毎回での授業での歌唱やリコーダーの演奏においての、フレーズのとらえ方やブレスの仕方 ・実技テスト（歌、リコーダー） ・レポート
③ 音楽表現の技能	・アルトリコーダーの運指が正確である。 ・アルトリコーダーのタンギングが正確である。 ・歌唱の音程が正確である。 ・アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に活かすことができる。（音楽記号、標語の理解）	・アルトリコーダーの試験曲でのタンギングや運指の正確さ ・毎回の授業の様子（音程、リズム） ・実技テスト（歌、リコーダー）
④ 鑑賞の能力	・範唱、範奏や仲間の演奏・発表を熱心に聴くことができる。 ・鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらますことができる。 ・楽曲の雰囲気を感じ取ることができる。 ・楽曲の背景（作曲家、楽器等）の知識理解。	・鑑賞中の態度 ・鑑賞のレポート ・定期テスト及び小テスト

3. 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
1 学 年 1 学 期	発声の基礎 ・発声練習（湯場メソッド） ・校歌 合唱の喜びⅠ ・Forever イメージと音楽1 ・「春 第1楽章」 リコーダーの基礎1 ・かっこう ・喜びの歌 リコーダーの基礎2 ・カノン1 ・オーラリー ・オーラリー 合唱コンクール ・各クラスで選択した合唱曲 ※上記から選択して指導	《全学期共通》 ①・忘れ物をせず、準備物をきちんと持ってきている。 ・毎回の授業に意欲的に取り組んでいる。 ・良い姿勢で歌やリコーダーの練習や演奏に取り組んでいる。 ・授業中に意欲的に発言できている。 ・実技テスト（歌、リコーダー）に意欲的に取り組んでいる。 ・定期テスト及び小テストに意欲的に取り組んでいる。 ②・アルトリコーダーの音色がやわらかく豊かである。 ・歌唱の声の質（響き）がやわらかく豊かである。 ・頭部を意識し、高く遠くを意識しての発声ができている。 ・歌唱の際に歌詞の意味を考え、明瞭な発音ができるよう工夫している。 ・毎回での授業での歌唱やリコーダーの演奏においての、フレーズを感じている。適切な場所でブレスができている。 ・実技テスト（歌、リコーダー）で表情豊かに演奏できている。 ③・アルトリコーダーの練習や試験において、タンギングや運指が正確である。 ・毎回の授業の演奏の際に、音程やリズムが正確である。 ・アクセントやリズム、強弱を適切に演奏に活かしている。 （音楽記号、標語の理解） ・実技テスト（歌、リコーダー）で楽譜の表記通りに演奏できている。 ④・鑑賞中の態度が適切で集中できている。 ・鑑賞のレポートをきちんと提出し、自分の感じたことをうまくまとめている。 ・鑑賞曲を聴き、作曲者の意図・心情を感じ取ったり、曲からイメージをふくらませたりすることができている。 ・定期テスト及び小テストにおいて、作曲家についての詳細や、楽曲の歴史的背景をしっかりと理解し、知識としている。
1 学 年 2 学 期	詩と旋律 ・日本の歌（例：赤とんぼ） 合唱コンクール ・各クラスで選択した合唱曲 リコーダーの発展1 ・主人は冷たい土の中に アジアの諸民族の音楽 ・オルティンドー、ガムラン等 合唱の喜び2 ・大地讃頌 リコーダーの発展2 ・ラヴァース コンチェルト（A1） ・メヌエット前半 イメージと音楽 ・「魔王」 ※上記から選択して指導	
1 学 年 3 学 期	リコーダーの発展3 ・メヌエット後半 合唱の喜び2 ・大地讃頌 日本の音楽 ・日本の楽器の響き 卒業式での合唱 ・校歌、旅立ちの日に ※上記から選択して指導	

4. 学習方法についてのアドバイス

学 習 方	学 校	・チャイムが鳴るまでに音楽室に移動し、着席して個人練習に取り組もう。 ・楽曲の演奏や練習に意欲的に取り組もう。また、顔や身体全体で表現しよう。 ・授業中は、教科書や楽譜を開け、どこを演奏しているのかを常に把握しよう。 ・授業中、楽曲の演奏に関してのアドバイスは、そのつど楽譜に書きとめておこう。 ・記号や語句についての説明は、教科書にチェックして、その場で覚えていこう。
-------------	--------	---

法	
家庭	・授業で習った楽曲の、旋律や歌詞を確認しておこう。 ・リコーダーの演奏で授業中にできなかったところを、きちんと練習しておこう。 ・授業で習った記号や語句を復習し、しっかりと覚えておこう。